

令和5年度 鳥取県立図書館 郷土文化講演会

「とっとり県民の日」関連行事／「とっとり県民カレッジ連携講座」

《演題》

—生誕150年記念—

「鳥取近代俳句史における阪本四方太と彼に続いた俳人達」

日時：令和5年9月17日(日) 午後1時30分～3時30分

会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室

主催：鳥取県立図書館

《講師紹介》

小山 貴子 (こやま たかこ)氏

昭和48年「層雲」入門、平成26年自由律俳句誌『青穂』代表、尾崎放哉研究家

学生時代より放哉研究に取り組み、自由律俳句誌『層雲』、『青穂』、『放哉研究』等に放哉に関する文章を多く発表するなど研究を続ける。句稿や関連資料など新たな放哉資料に光を当て、『暮れ果つるまで』(春秋社)を上梓、『放哉全集』(筑摩書房)の編集を務めた。

また、放哉研究を機縁とし、鳥取「卯の花会」に参加した近代俳人についての研究を深め、県立図書館発行「郷土出身文学者シリーズ」では尾崎放哉、阪本四方太の共同執筆を務める。

現代俳句協会、大阪俳句史研究会、日本放哉学会会員。また、今年第七回となる「尾崎放哉賞」(「青穂」主催)の選者。現在も自身の俳句表現を発表し、日々研究を進めている。

【鳥取県に関連した著作等】

- ・「郷土出身文学者シリーズー尾崎放哉」(平成17年3月)分担執筆
- ・「郷土出身文学者シリーズ9 阪本四方太」(平成25年3月)分担執筆
- ・「暮れ果つるまで 尾崎放哉と二人の女性」(平成11年3月)単著
- ・「放哉全集」第一巻～第三巻(筑摩書房、平成13年～14年)共同編集
- ・「自由律俳句誌『層雲』百年に関する史的研究」(平成25年12月)単著
- ・「鳥取の俳人 尾崎坡醉」(平成27年12月)編著

※2階郷土カウンターにて、郷土出身文学者シリーズ『阪本四方太』(鳥取県立図書館発行、定価500円)を販売しています。